

英語圏児童文学会 西日本支部 夏の講演会



# 絵本にみる生態想像力



—「生きているものどうし」の関係を想うこと—

山本 一成  
滋賀大学教育学部 准教授



幼児はさまざまなものを「生きている」と感じる心を持っている。虫や花、ときには人形や石といった生物学的には命がないものにまで、親切にしたり、一緒に喜んだり悲しんだりする。

アニミズムと呼ばれるこのような世界は、絵本のなかにも多く描かれてきた。

筆者は保育現場で発揮されるこのような幼児の想像力を、「生きているものどうしの想像力」「生態想像力」といった概念を通して研究してきた。

本講演では、絵本がそれらの想像力を深め、広げるメディアであること、そして、そのような絵本体験がサステナビリティへ向けた教育（ES）のひとつの可能性であることについて考察したい。

2023年

6/24

(土)

14:00-16:00

一般参加費

600円

オンライン可

講演後に記録  
ビデオを配信

会場

大阪府立中央図書館  
2F多目的室（定員60名）

〒577-0011

東大阪市荒本1-2-1

山本一成著

『保育実践へのエコロジカル・アプローチ』

九州大学出版会 2019年



矢野智司編

『教育の世界が開かれるとき』

世織書房 2022年



英語圏児童文学会 西日本支部会

The Japan Society for Children's Literature in English

共催: 大阪国際児童文学振興財団

